

# 《建設工学科倉庫修繕》

## ～測定から塗装まで～

安藤 颯馬 木野 颯偲 小寺 隆斗 中嶋 日翔 野原 玄德 竹中 勇人

### 1 はじめに

私たちは校内整備をテーマにし、その中で最も修繕が必要な学科倉庫を修繕することになりました。また、校内においてその他修繕が必要な個所を見つけ修繕することになりました。

### 2 寸法測定

修繕する外壁を三面と決め、それぞれの幅や高さを測り、面積を計算して必要な量のペンキを発注しました。



### 3 洗淨

高圧洗淨機とデッキブラシを使い、外壁の洗淨を行って塗装を剥がしました。雨の日に行うことで、剥がした塗料が下に流れやすくなるので、雨の日に行うようにしました。



### 4 足場

洗淨でも塗装でも倉庫の高いところには手が届かないため足場を使い行いました。実習で学んだことを活かし、レベルを使って足場の高低差を調整し、ぐらつきをなくしました。足場の上での作業ではヘルメットと安全帯を着用し、安全面にも十分配慮し作業を行いました。



### 5 塗装

数日間にわたって塗装を行うので、毎回ペンキの濃さが一定となるようにペンキと水の配分に気を使いました。大まかにローラーで塗装をし、そのあと細かい部分やくぼんでいるところはハケを使って塗装を行いました。



## 6 シャッターの修繕

次に、シャッターボックスの垂木が腐敗していたので、木工室に行き垂木を準備し、インパクトドライバーで取り付けました。その後シャッターにグリスを塗り、可動がよくなるようにしました。



## 7 その他

倉庫の外壁をきれいにした後、倉庫の中を整理して掃除しました。

ほかにも、建設工学科の役に立つよう軽トラックの塗装やキャスターの作成も行いました。キャスターの作成では、実習で学んだ高速切断機やディスクグラインダーの使い方を活かす事が出来ました。



## まとめ

私たちの課題研究では、三年間専門的に学んだことを要所で活かして安全第一に作業を行いました。生徒自身で効率的に作業を行えるよう工夫して、細かい部分にも気を使うことができました。自分達の身の回りの修繕、清掃することによって過ごしやすくきれいな学校作りを考え学科・学校に貢献する事ができて良かったです。

